

平成 20 年度 事業報告

1 事業の成果

平成 20 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として事業を展開したほか、業務受託による調査ならびに勉強会の試行として、それぞれ、沖縄県八重山諸島や静岡県柿田川においても事業活動をおこなった。

【環境学習・教育事業】

環境学習・教育事業としては、前年度に引き続き、「子ども環境カレッジ」と題し、GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」及び駒沢地区の住宅地と公園における鳥類の観察会を実施した。また、世田谷区駒沢地区において一般市民を対象とした定例講演会を 8 回開催した。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、2007 年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2008」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、湧水生態系の学習ツールの開発に関する業務を受託し、この学習ツールを活用した学習会を世田谷区で参加者を募り柿田川において試行した。

【情報収集及び情報提供事業】

情報収集及び情報提供事業として、業務受託による、ジュゴン生態の調査・研究、内湾域の再生方策や沿岸域の環境保全に関する調査・研究を行った。

【その他】

財団法人コカ・コーラ環境・教育財団により、第 15 回コカ・コーラ環境教育賞への推薦を受け、8 月に主催者賞を受賞した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
環境学習・教育事業	生き物観察・水質分析などに関する実験等	8月23日(土) (13時～17時)	世田谷区 駒沢	18人	小学生・幼児と保護者 (22人, 16人)	115
	住宅地・公園の身近な冬鳥観察会	2月14日(土) (9時～12時)	世田谷区 駒沢	10人	小学生・幼児と保護者 (9人, 8人)	6
	環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等	4月14日(月) 4月21日(月) 6月16日(月) 7月14日(月) 7月24日(木) 9月1日(月) 10月20日(月) 11月17日(月) (原則17:00～18:30)	世田谷区 駒沢 (4月14日は 大阪市)	5人 /1回	一般市民 102人 87人 127人 93人 186人 120人 127人 123人	803
環境保全に関する普及啓発事業	ホームページの運営	年間	世田谷区 駒沢	30人	一般市民 (不特定多数)	82
	活動報告書の作成	5月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数2,000部)	802
	湧水生態系学習ツールの開発と学習会開催	7月～3月 (学習会は12月13日実施)	世田谷区駒沢 (静岡県柿田川)	8人	(社)日本の水をきれいにする会会員 (報告書1000部印刷) 学習会21人参加	2,150
情報収集及び情報提供事業	南西諸島におけるジュゴンの生息可能性検討調査	10月～3月	沖縄県石垣市 横浜市都筑区他	10人	ジュゴン研究会員及び いであ(株)職員 (25人)	1,977
	沿岸域の環境保全対策の調査研究	6月～3月	世田谷区 駒沢	40人	水産関係会員 (20人)	1,000
	内湾域を豊かな海に再生するための方策調査研究	6月～3月	世田谷区 駒沢	40人	水産関係会員及び 関連分野研究者 (30人)	945
	「東京湾の環境をよくするために行動する会」への参画	6月～3月	横浜市都筑区他	8人	一般市民 (200人程度)	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出(千円)
	実施せず					

2 事業の実施に関する事項

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 20 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 14 日(月)	大阪支社新社屋開設記念行事の一環として ●第 83 回(平成 20 年度第 1 回)定例講演会 『コスモスクエア地域について』 『成熟化社会におけるまちづくり』	仙波 惇 先生 (いであ株式会社 技術顧問) 佐藤 友美子 先生 (財)サントリー文化財団 上級研究 フェロー)
21 日(月)	●第 82 回(平成 20 年度第 2 回)定例講演会 『環境データを扱う中での統計学的な姿勢』	岩瀬 晃盛 先生 (NPO 法人 環境統計統合機構 理 事)
5 月 26 日(月)	※第 7 回理事会、第 5 回通常総会、第 8 回理事会 ◇GEC 活動報告書 2008 発刊	定款変更、役員改選
6 月 16 日(月)	●第 84 回(平成 20 年度第 3 回)定例講演会 『水田は地球を救えるか?』	細見 正明 先生 (東京農工大学 教授)
7 月 14 日(月)	●第 85 回(平成 20 年度第 4 回)定例講演会 『モニタリングデータから見た東京湾の水質と水生生物 の長期変化』	安藤 晴夫 先生 (東京都環境整備公社 東京都環境科 学研究所 主任)
24 日(木)	●第 86 回(平成 20 年度第 5 回)定例講演会 『社会資本整備審議会答申「水災害分野における地球温 暖化に伴う気候変化への適応策のあり方 について」一 解説一』	福岡 捷二 先生 (中央大学 特任教授)
8 月 23 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」 ※財団法人コカ・コーラ教育・環境財団から「第 15 回コ カ・コーラ環境教育賞主催者賞」を受賞	GEC ホール 38 名参加(小人 22, 大人 16)
9 月 1 日(月)	●第 87 回(平成 20 年度第 6 回)定例講演会 『社会資本の構想段階の計画策定プロセスと戦略的環境 影響アセスメント』	屋井 鉄雄 先生 (東京工業大学 教授)
10 月 20 日(火)	●第 88 回(平成 20 年度第 7 回)定例講演会 『河口域の土砂動態と地形・底質形成について』	横山 勝英 先生 (首都大学東京 准教授)
11 月 17 日(月)	●第 89 回(平成 20 年度第 8 回)定例講演会 『都市型豪雨災害と危機管理』	山田 正 先生 (中央大学 教授)
12 月 13 日(土)	◇子ども環境カレッジ運営協力 「冬の湧水地 勉強会」	静岡県柿田川 21 名参加
2 月 14 日(土)	○子ども環境カレッジ 「鳥みっけ! & とりパン入門』	GEC ホール・駒沢緑泉公園ほか 17 名参加(小人 9, 大人 8)

○環境学習・教育事業 (水辺を活用した自然観察会)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◇環境保全に関する普及啓発事業

事業報告参考資料

収益事業の内容

件名	発注者	事業の内容
湧水生態系学習ツールの開発と学習会開催	(社)日本の水をきれいにする会	<p>発注者が河川整備基金を得て実施した事業の補助。</p> <p>湧水生態系に関する調査研究の状況を調査し、湧水生態系をテーマとした学習ツールの開発を行った。開発した学習ツールを利用して、柿田川において冬の湧水地を対象とした勉強会を試行し、ツールへの課題を抽出し、全体を報告書としてまとめた。</p> <p>報告書は計 1000 部印刷し、発注者から全国の会員に送付された。</p>
南西諸島におけるジュゴンの生息可能性検討調査	いであ(株)	<p>NPO地球環境カレッジ内にジュゴン研究会を設置し、京都大学荒井准教授らと南西諸島におけるジュゴンの生息可能性について資料調査、聞き取り調査、現地調査などを行った。調査結果を報告書に取り纏めるとともに、ジュゴン研究会会員及びいであ(株)職員を対象に成果報告会(2月24日 大阪市内)を開催した。</p>
沿岸域の環境保全対策の調査研究	新日本環境調査(株)	<p>水産関係を専門とする会員が毎週1回程度勉強会を開き、新日本環境調査が受託した関連業務を題材にして、沿岸域の環境保全対策について意見交換するとともに必要な技術指導を行った。</p>
内湾域を豊かな海に再生するための方策調査研究	新日本環境調査(株)	<p>豊かな海としての海域生産、水産から望まれる水域環境、そのための検討内容、等について会員及び水産等研究者と検討会を開催し、有明海を対象としたケーススタディを行った。</p>